

## 令和7年度 第3回岐阜市立図書館協議会 議事概要

日 時:令和8年2月16日(月)午前10時00分～11時50分

場 所:みんなの森 ぎふメディアコスモス1階 第一会議室

出席者:12人(欠席委員2人)

久世 均委員(会長)、杉山 喜美恵委員、太田 千香子委員、門屋 伸子委員、  
嶋田 学委員、浅井 彰子委員、大野 正子委員、神 尚喜委員、平賀 研也委員、  
市川 由加里委員、出崎 綾子委員、林 一真委員  
(事務局)長尾館長、野々山副館長、近藤係長、土谷係長、川瀬係長、富長係長、  
中島係長、松野副主査、山田主任

傍聴者:なし

議事概要:

### ■報告に対する委員からの意見

<b>(1) 岐阜市立中央図書館 2025年度事業実績について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校連携室の調べ学習を支援する図書の貸出は限られた学校が利用していると思われるので、そうした制度を広く周知していくことが必要である。</li><li>・ 今年度の事業実績について、今後注力する事業など構造化した表記をすると、次の企画に繋がられる。</li><li>・ 一つ一つのイベントについて、意味付けや重点を明確にすることが大事である。</li><li>・ デジタルアーカイブについて、学校教育などでの二次加工利用ができるとうい。</li><li>・ 図書館でイベントを通して賑わいを創出することの意義づけ、やることの価値を見つける必要がある。</li></ul>
<b>(2) 第3次岐阜市子どもの読書活動推進計画令和7年度の成果について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第3次子どもの読書活動推進計画に記載された市立図書館の役割と成果の内容との整合性が見えにくい。</li><li>・ 成果としてのアンケートの結果と、それによってどのように改善をして次に結びつけていくのか、という点が重要である。</li></ul>
<b>(3) 第4次岐阜市子どもの読書活動推進計画策定の途中経過について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画を策定するうえでは、前回と今回を比較すること、基本計画の目標の達成をどのようにしていくのかという点が大切である。</li><li>・ 読書はインプットだけでなく、表現して考えを構築するアウトプットやその情報源としての立ち位置が大事である。</li></ul>

- ・ 第4次岐阜市子どもの読書活動推進計画の策定にあたっては、その理念や方向性などの骨格は第3次計画を踏襲し、計画案を提示していく予定。
- ・ 赤ちゃんの時から親の意識に、本や絵本を純粋に楽しんで欲しいという思いがあると、子どももそのように育っていくのではないかという思いで読み聞かせ活動している。子どもの読書活動推進計画は、図書館が中心となって策定するものであるが、社会全体として取り組む問題だと考えている。
- ・ 読書の中身が変化する中で、どのような読書を重点とするのか、また目的に対する成果指標について、きめ細かく議論していく必要がある。

#### (4)その他

- ・ 現在、学校の子どもたちも多様化してきている。障がいを持つ子や外国籍の子の声も実態調査ができればよい。
- ・ 子どもがこれからも図書館や学校などいろいろなところで読書と触れ合う機会をできるだけ増やしていけるような事業を継続していきたい。